

科目名	スポーツV	単位数	1	必修選択	必修
教科書					
副教材					

教科・科目の内容

「自然体験型野外活動の理解と実施（キャンプ、登山、遠泳等の水辺活動）」「競技型野外活動の理解と実践（スキー、スケート）」の中から以下の内容で実習を行います。変わりやすい自然環境への対応の仕方や組織の編成・役割分担、実施計画など、事前の活動（準備）も学習します。

2年次：キャンプ 水辺活動 理論・実習

山中湖周辺にて、自然の中での共同生活（テントの設営や生活の仕方、野外料理や自然観察等を行うことで、好ましい人間関係づくりや自然を愛する心を学習します。また水辺の自然環境に親しむ目的でマリンスポーツを体験します。

日常生活や将来とのつながり

自然環境の中での共同生活や様々な自然に親しむ活動を通して、好ましい人間関係や自然を愛する心をはぐくみ、日常生活や将来いろいろな状況の中でも人間関係を高めたり、集団の課題解決力を高めたりすることができる。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

事前学習を行い、野外活動の意義や目的を学び、自然とのかかわりの深い野外の運動の専門的な理解と高度な技能の習得を目指します。また主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展に関わることができる資質や能力を育てます。

到達目標

自然とのかかわりの深い野外の運動の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

- 1 自然とのかかわりの深い野外活動の特性について理解し、その知識と技能を習得できるようにします。
- 2 自然の中での行動の仕方を身につけ、好ましい人間関係を育て、自然に親しむことができる資質や能力を育てます。
- 3 自然の中で、生活の規則に従って共同生活を行うために必要な知識と技能を身につけます。

評価の観点(評価方法)

- ① 関心・意欲・態度(ノート ・ レポート ・ 発表 ・ 行動観察 ・ 他者評価)

活動によって予想される事故の状況、活動環境を十分把握し、健康・安全が確保されるように留意できる。

- ② 思考・判断・表現(ノート ・ レポート ・ 発表 ・ 行動観察 ・ 他者評価)

自己の課題を解決するとともに生涯を通してスポーツVの振興発展に関わり、課題の設定や情報の分析及び適切な選択、活動の評価、目標の修正や練習計画の組み立てなどができる。

- ③ 技能(実技・行動観察)

活動の特性に応じて技能を高めたり、ルールを理解し仲間と共働して活動することができる。

- ④ 知識・理解(ノート ・ レポート)

活動の名称や用語、技術と高め方、体力の高め方、課題解決の方法などを理解することができる。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	スポーツV	1	()	

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境への対応の仕方や、組織の編成、役割分担、実施計画など事前の活動(準備)を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスの仲間や班員と協力して、食事やオリエンテーリング等の計画を立てることができる。 火起こしの練習を積極的に行うことができる 	○	○		
			○	○	○	○
二 学 期	キャンプ実習 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境への対応の仕方や、組織の編成、役割分担、実施計画など事前の活動(準備)を行う。 山中湖周辺野営場にて、自然の中での共同生活(テントの設営や生活の仕方、野外料理)を行うことで、好ましい人間関係づくりや自然を愛する心を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然とのかかわりの深い野外活動の特性について理解し、その知識と技能を身に付けている。 自然の中での行動の仕方を身につけ、自然に親しむことができる資質や能力を身に付けている。 自然の中で、生活の規則に従って互いに助け合い、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 集団の交流を図り好ましい人間関係を高めるために、自己や仲間に適した関わり方を見つけている。 変わりやすい自然環境の中で臨機応変な行動をとり、健康・安全を確保している。 振り返りをきちんとし、帰校後の生活に活かすことができる。 	○	○	○	○
			○	○	○	○
三 学 期						

備考	
----	--